

トヨタのサポカー 体験会開催!

サポトヨ
技術と人で、安全安心をサポート



パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）

駐車時など、低速取り回し時における衝突回避、または衝突被害の軽減に寄与するシステム。

高齢者がアクセルとブレーキを踏み間違えてコンビニに衝突するなど、
ニュースに取り上げられることも増えています。

不意の衝突を防ぐために。8つのソナーが 前後方向の障害物を感知しブレーキ制御。

ソナーはカメラと違い、障害物がガラスでもしっかり感知。バックも含め前後方向に対応しています。トヨタが考える安全技術の基本はドライバーの意志を尊重し、ドライバーのアクセル・ブレーキに応じて支援しますが、パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）は目の前の壁との衝突を避けることを最優先に、唯一、ドライバーがアクセルを踏んでもブレーキ制御を行う安全装備です。



超音波センサー検知イメージ（前後）



画面表示



画面表示（システム作動により車両減速）

■必ず止まることを約束するものではありません。

事故調査結果【踏み間違い】



駐車場事故での踏み間違いが約7割減少

アルファード、ヴェルファイア、プリウスについて2016年6月までの18カ月間に駐車場が発生した事故を調査*。内、約2,500件の事故データを調査した結果、ブレーキとアクセルの踏み間違い事故件数は約7割減少という結果を得ることができました。

■トヨタ自動車(株) Global Newsroom(2016年12月)
*保険会社(当該車種約6万台分を契約)によるデータ



- 運転支援機能のため、検知範囲、作動速度には限界があります。必ず、安全を確認しながら運転してください。
- 道路状況、交差点の形状、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態によっては、システムが正しく作動しないことがあります。
- 本システムはあくまで運転を支援する機能です。システムを過信せず、必ずドライバーが責任をもって周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。
- 詳しくは販売店でご確認ください。